

平成26年度CPD協議会シンポジウム

技術士CPD制度の現状

2014.05.15 (Thu)

笹口 裕昭



公益社団法人 日本技術士会 CPD実行委員長
技術士（金属、建設、総合技術監理）

笹口技術士事務所 - Copyright 2014, Sam Professional Engineering Consultant

1

技術士CPD制度の背景(1)

◆技術士法 第4章 技術士等の義務

第47条の2 (技術士の資質向上の責務)

技術士は、常に、その業務に関して有する知識及び技能の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るよう努めなければならない。

笹口技術士事務所 - Copyright 2014, Sam Professional Engineering Consultant

2

技術士CPD制度の背景(2)

◆公益社団法人日本技術士会 定款

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(2)技術士の資質向上に関する事項

3
笹口技術士事務所 - Copyright 2014, Sam Professional Engineering Consultant

技術士CPD制度の背景(3)

◆技術士倫理綱領

【基本綱領】

(継続研鑽)

10. 技術士は、常に専門技術の力量並びに技術と社会が接する領域の知識を高めるとともに、人材育成に努める。

4
笹口技術士事務所 - Copyright 2014, Sam Professional Engineering Consultant

技術士CPD制度の背景(4)

◆技術士プロフェッション宣言

技術士の行動原則①

高度な専門技術者にふさわしい知識と能力を持ち、技術進歩に応じてたえずこれを向上させ、自らの技術に対して責任を持つ。

技術士CPD制度の背景

1. 技術士法 第47条の2
技術士の資質向上の責務
2. 日本技術士会定款 第4条
技術士の資質向上に関する事項
3. 技術士倫理綱領 基本綱領 10
技術士は、常に専門技術の知識を高める
4. 技術士プロフェッション宣言 行動原則①
技術士にふさわしい知識と能力を持ち向上する



CPD活動を展開

技術士CPD(継続研鑽)の目的 **Continuing Professional Development**

- ◆ 技術者倫理の徹底
- ◆ 科学技術の進歩への関与
- ◆ 社会環境変化への対応
- ◆ 技術者としての判断力の向上

技術士CPDの基本事項

- ◆ 自己研鑽は、専門的業務の知識及び技術の水準を向上させ、資質の向上に資する
⇒自己研鑽の対象は個人によって異なる
- ◆ 自己研鑽の実施結果を、自分で記録し、その証しとなるもの（エビデンス）を自分で保存しておく
（エビデンスは、5年間保管が必要）

CPD時間の目標

- ◆ 3年を1サイクルとしてCPDを実施する
- ◆ 3年間に150 CPD時間（実施に費やした時間に時間重み係数を乗じた時間）を目標
⇒年平均50 CPD時間を目標

＜参考＞APECエンジニア登録申請
申請前2年間に、100 CPD時間
更新期間5年間に、250 CPD時間

「技術士CPDガイドライン」策定の背景

「技術士CPDガイドブック(第5版)」2008年4月



- ① 技術士CPDが対外的に評価を受ける機会の増大
- ② 「技術士CPD登録証明書」の質を担保
- ③ できるだけ多く、技術士CPDに登録してもらう
⇒登録内容の質を担保し、容易に登録できるように



「技術士CPDガイドライン(第1版)」2011年4月



「技術士CPDガイドライン(第2版)」2014年4月

CPDの課題区分

◆ A：一般共通課題

- 1.倫理、 2.環境、 3.安全、 4.技術動向、
- 5.社会・産業経済動向、
- 8.マネジメント手法、
- 9.契約、 10.国際交流、 11.その他

◆ B：技術課題

- 1.専門分野の最新技術、 2.科学技術動向、
- 3.関係法令、 4.事故事例、 5.その他

CPDの実施形態

1. 講習会、研修会、講演会、シンポジウム、見学会等への参加(受講)
2. 論文・報告文などの発表・査読
3. 企業内研修(受講)
4. 研修会・講習会などの講師・修習技術者指導
5. 産業界における業務経験(表彰、特許)
6. その他(技術士の資質向上に役立つもの)
 - ①公的な技術資格の取得
 - ②公的な機関での委員就任
 - ③大学、研究機関における研究開発・技術業務への参加、国際機関などへの協力
 - ④技術図書執筆
 - ⑤自己学習 他

CPD記録の登録

- ◆ CPDとして成果／効果があったもの（自己申告）
 - ◆ CPD時間（CPD単位）
 - 実時間に重み係数を考慮した時間〔実時間×係数〕
 - ◆ 実績をログシートに記録
 - ◆ 実績を登録
 - 技術士会ホームページからWEBで登録
 - ・「ID」、「パスワード」取得
 - ・会員：無料、会員以外：年度毎に手数料を徴収
- 証明書等 -
- ◆ 「技術士CPD登録証明書」の発行
 - ◆ 「技術士CPD認定会員」制度

CPD記録シート

CPD記録 (年 月 ~ 年 月) 技術士登録番号: 氏名: (APECIンゴ登録番号: JP-1-) (/ 頁)

No.	開始年月日 終了年月日	時	課題 (記号)	形態 (記号)	CPD名称	主催者等	CPDの内容	備考 (各本協会等のCPD のコード番号)	基 時間 (1)	重み 係数 (2)	CPD 時間 (1)×(2)	CPD 時間 累計	APEC エンジン
1											0	0	
2											0	0	
3											0	0	
4											0	0	
5											0	0	
6											0	0	
7											0	0	
8											0	0	
9											0	0	
10											0	0	

APECIンゴ技術分野の記号(a: Civil, b: Structural, c: Geotechnical, d: Environmental, e: Mechanical, f: Electrical, g: Industrial, h: Mining, i: Chemical, j: Information, k: Bioengineering)

注) 開催項目別のCPD時間係数を記入して下さい。

A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8	A-9	A-10	A-11
A小計		B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B小計		合計	
0							0		0	

注) 形態区分別のCPD時間係数を記入して下さい。

1	2	3	4	5	6-①
6-②	6-③	6-④	6-⑤	合計	
					0

技術士CPD登録証明書の発行

- ◆ ガイドラインに基づいたCPD記録の登録
- ◆ 「WEB」登録されたCPD記録の証明
- ◆ 発行の対象期間は過去5年分まで
- ◆ 本人から「WEB」で発行申請（有料）
- ◆ 発行にあたっては、CPD記録の内容を審査
（依頼から証明書発行まで2週間程度）

見本

第*****号

技術士 CPD 登録証明書

(氏名) 技術士 太郎	(技術部門)
(登録番号) *****	○○部門

対象期間: 2010年4月 ~ 2013年3月
 合計CPD時間: 177.5 CPD時間

課題別CPD時間:

課題区分	CPD時間
A 一般共通課題	120.5
B 技術課題	57.0
合 計	177.5

形態別CPD時間:

形態区分	CPD時間
1. 講習会、研究会、講演会、セミナー等への参加（受講）	102.5
2. 論文等・報告文などの発表、査読	30.0
3. 企業内研修（受講）	10.0
4. 研究会・講習会などの講師・修習技術者指導	0.0
5. 産業界における業務経験	15.0
6. 資格取得、委員会活動、大学等での研究開発、図書執筆、自己学習など	20.0
合 計	177.5

(注)表中のCPD時間の合計は登録入力のため計算上の数値と一致しないことがあります。

あなたのCPDの実績については、本会上記のとおり登録されていることを証明します。
 *****年**月**日
 公益社団法人日本技術士会 会長 ○○ ○○

技術士CPD認定会員制度

1. 認定会員制度 (2006年3月から開始)

- ・「(公社)日本技術士会CPD認定会員」であることを証する
- ・有効期間は3年間(更新あり)
- ・認定(新規/更新)に当たっては、認定要件を満たしていることを審査

2. 認定の要件

(1) 会費等に未納がないこと

(2) 以下の条件を満足すること

- ① 過去3年度間で150 CPD時間以上登録
- ② 各年度別においても30 CPD時間以上実績
- ③ 3年度間に、少なくとも A：一般共通課題で2項目、
B：技術課題で1項目
- ④ 3年度間に、少なくとも3つの形態

笹口技術士事務所 - Copyright 2014, Sam Professional Engineering Consultant

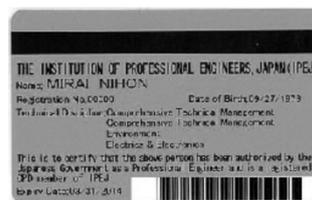
17

CPD 認定会員証 (カードタイプ) の見本

(おもて面)



(うら面)



18

技術士CPD審査(定期審査)

- 1) 頻度：年1回
- 2) 対象者：CPD認定会員の約10%を抽出
- 3) 審査の基準
CPD認定会員の認定基準を満たしていること
 - ①会費等に未納がないこと
 - ②過去3年度間で150 CPD時間以上
 - ③CPD記録の内容がガイドラインに基づいていること
- 4) 基準を満たしていない場合
 - ・ CPD登録データの「修正・改善」依頼通知
 - ・ 3ヶ月以内にデータの修正・改善

技術士CPD登録の状況

2014年3月末現在

日本技術士会の正会員数	14,260 名
CPDのWEB登録者数	7,676 名
CPD認定会員数	815 名
CPD登録証明書発行件数	359 件 (2013年度)

日本技術士会HP(CPD関連)



21

公益社団法人 日本技術士会 CPD実行委員会

CPD実行委員会 活動内容

- ◆ 技術士CPD中央講座
- ◆ 技術士CPDミニ講座
- ◆ 技術士フォーラム
- ◆ 技術士CPD技術士業績・研究発表大会
- ◆ 新春記念講演会
- ◆ 技術士CPD教材の作成
- ◆ 技術士第二次試験合格者研修会
ならびに祝賀会
- ◆ 学協会と技術士CPDの連携活動